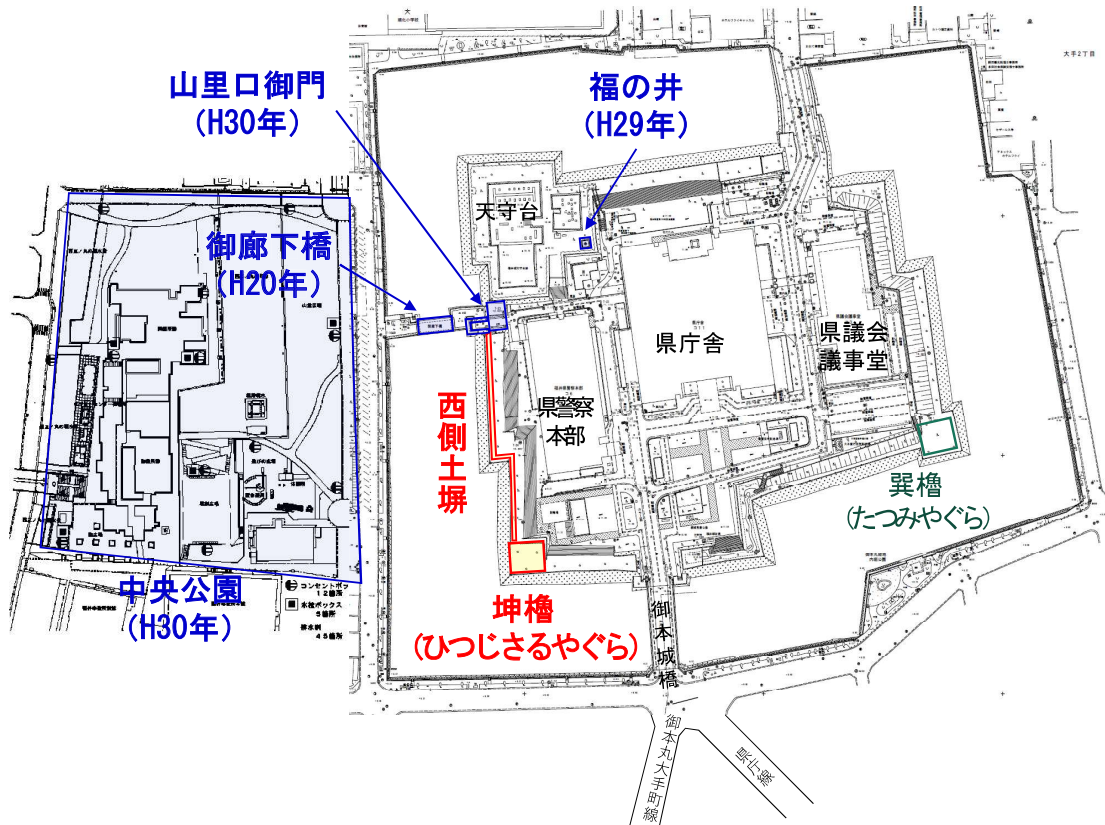


福井城址整備の経緯および利活用の状況

- ・福井城址では、これまで御廊下橋や山里口御門等を復元整備



1

【御廊下橋】

- ・平成18年、福井城築城400年の機会を捉え、復元整備工事に着手
- ・平成20年3月、明治初期の写真をもとに復元
- ・長さ14.5m（8間）、幅3.6m（2間）



中央公園から見た御廊下橋と山里口御門



天守台から見た桜の季節の御廊下橋

2

【福の井】

- ・「県都デザイン戦略」（平成25年3月、福井県・福井市）に基づき、平成29年に福の井を再整備
- ・これまでに、春祭り等のイベントで約2万人にお茶をふるまい、約4千人が井戸の水くみを体験
- ・今年の夏休みは5日間で180人以上の親子が水くみを体験。山里口御門も見学



福の井 近景



天守台跡の近くにある福の井

3

【山里口御門】

- ・「県都デザイン戦略」に基づき、平成25年度から復元整備工事に着手
- ・平成30年3月、史実に基づき、復元
- ・高さ：約8.4m（1階通路門：約3.3m + 建物：約5.1m）
- ・面積：2階床面積 約57㎡、約10.5m×約5.5m
- ・令和元年度は約5万人、令和4年度は約4万人が来館



中央公園から見た山里口御門



中央公園から見た山里口御門

4

【中央公園】

- ・「県都デザイン戦略」に基づき、福井市が御座所の遺構を活かし、歴史や文化を感じながら憩える中央公園の再整備を実施
- ・平成30年8月に完成



天守台から見た中央公園と御廊下橋



堀水景（手前）とビジターセンター御座所（奥）

5

城址の利活用（イベント等）

福井城址に興味・関心を持っていただき、歴史的価値を知っていただく取り組み

福井城址春まつり



天守台茶屋



お堀でボート体験（R4）



福の井の水くみ体験



6

城址の魅力向上・学び

福井城址に興味・関心を持っていただき、歴史的価値を知っていただく取り組み

石垣の常設ライトアップ
(R4年度：西面、R5年度：南北東面)



まち歩き・城歩き



福井城復元アプリ



福井城セミナー



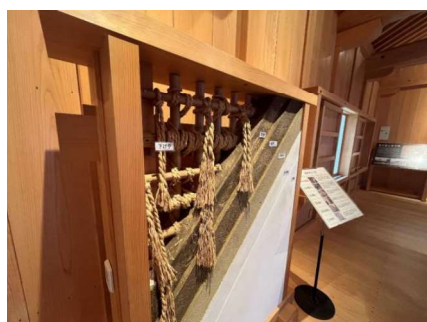
山里口御門の櫓内の展示

〈展示内容〉

- パネル展示
 - ・福井城や福井藩の紹介
 - ・山里口御門の歴史
 - ・復元工事の概要
- 映像展示
 - ・復元の概要
 - ・復元アプリ（天守の再現等）
- 漆喰壁の模型
- 来館記念スタンプ・パンフレット



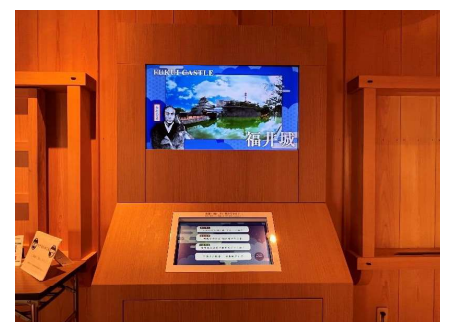
櫓内の全景



漆喰壁の模型



歴史紹介等のパネル展示



福井城等の映像展示

福井城址整備の位置づけ

『福井城址活用検討懇話会』提言

- ・令和2年9月、まちづくり、歴史、文化、景観等の各分野の有識者や地元大学生で構成する『福井城址活用検討懇話会』を設置
- ・令和4年3月、「未来を描こう、県民の城」をテーマに、福井城址の活用方策が提言
- ・具体的な活用方策の提案 「石垣・堀の保全と利活用（短期～）」
「坤櫓や城址西側土塀の復元（短期～中期）」
「異櫓等の復元を検討（中期～長期）」など

※目標年次 短期:2024年、中期:2030年、長期:2040年



市道県庁線から見る坤櫓の復元イメージ



中央公園側から見る坤櫓や土塀の復元イメージ

9

『県都グランドデザイン』

- ・令和4年10月、福井県、福井市、福井商工会議所による「県都にぎわい創生協議会」が『県都グランドデザイン』を策定
- ・「誰もが主役に！楽しさあふれる県都」を将来像として、目標や短期・中期・長期に実施するプロジェクトを記載



【目標年次】

- ・短期：概ね5年間
- ・中期：2030年頃まで
- ・長期：2040年まで

将来像のイメージ

10

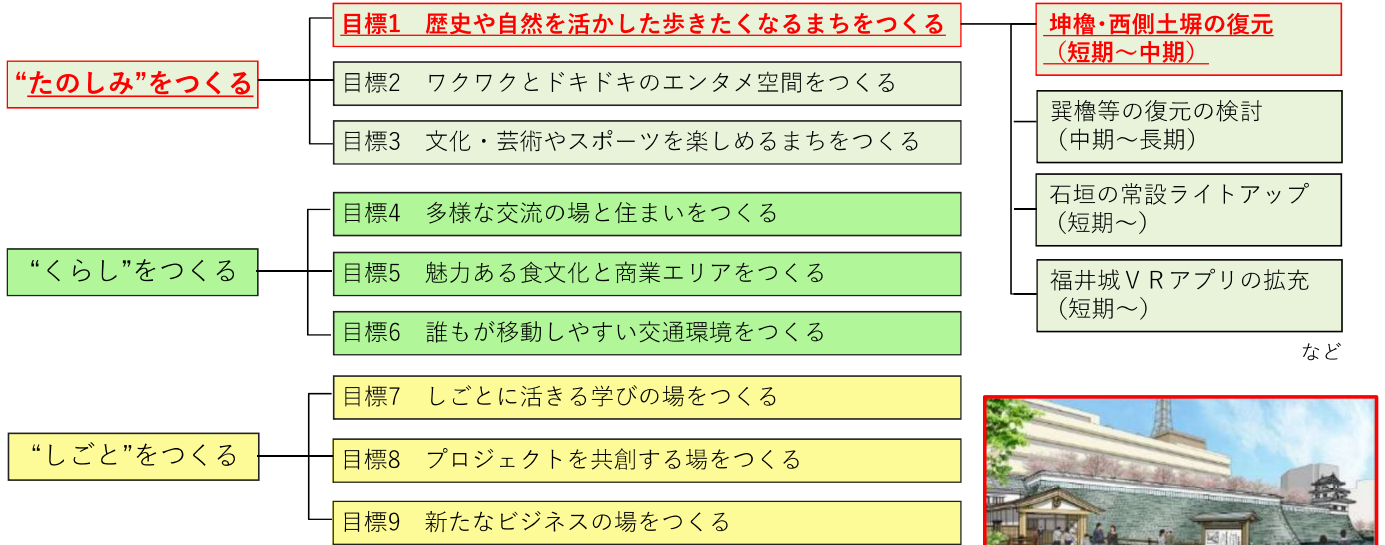
『県都グランドデザイン』プロジェクト

- 福井城址の魅力向上について、「目標1 歴史や自然を活かした歩きたくなるまちをつくる」の主なプロジェクトとして位置付け

3つの領域

9つの目標

主なプロジェクト
(福井城址の魅力向上)



坤櫓や土塀の復元イメージ

11

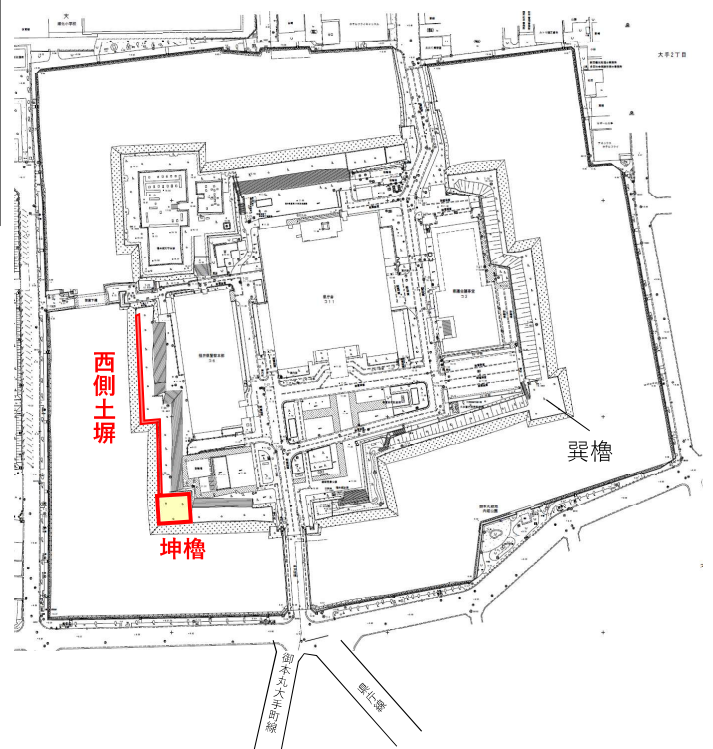
坤櫓等の復元整備に向けて

- 令和5年6月補正予算において、坤櫓や土塀の復元に向けた基本設計費を計上
- 今年度、基本設計や石垣調査解析を実施

- 今秋、櫓の大きさを実感できる「見える化」イベントを企画
(福井工大の学生がアイデアを提案)



NHK (令和5年7月21日)



12